

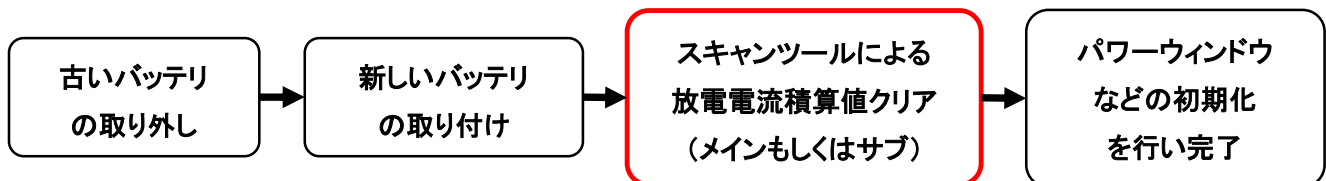
日立ダイアグノスティックツールHDM-330操作ガイド アイドルストップ機能付日産車のバッテリー交換

注意事項/必ずお読みください

- 実際の作業に当たっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で作業手順、作業上の注意点をご参照の上、作業を行って下さい。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更される為、本資料に掲載する機能が使用できない場合がございます。

1.日産車のバッテリー交換作業について

- 日産自動車から販売されているアイドルリングストップ付車両の内、メインバッテリー、もしくはサブバッテリーの交換に当たってはコントロールユニット側が記憶している放電電流積算値クリアを行う車両があります。
- また、バッテリーのマイナス端子を外した場合、パワーウィンドウ等の初期化が必要になります。**初期化が未実施の場合、パワーウィンドウの挟み込み防止機能、オートアップ作動機能、タイマ作動機能は作動しません。**



2.HDM-330放電電流積算値クリア対応車両

下表の車両が対象となります。(2020年11月現在/アイドルリングストップ付車両。e-POWER車は除く。)

車両名	基本型式	販売開始時期
マーチ	K13	2010年07月～
キューブ	Z12	2012年10月～
ノート(※)	E12	2012年09月～
ジューク	F15	2013年08月～
スカイライン	V37	2014年06月～
セレナ(S-HYBRID)(※)	C26	2010年11月～
	C27	2016年08月～
エクストレイル	T32	2013年12月～

※:e-POWER車ではスキャンツールによる放電電流積算値クリアは行いません。

(次ページへ続きます)

3.HDM-330操作手順

以下の手順で操作を行って下さい。

【手順001/バッテリーの交換】

整備解説書をご参照の上、メインバッテリーもしくはサブバッテリーの取り外し、取り付けを行って下さい。

【手順002:HDM-330の車両への接続と特殊機能の起動】に進みます。

【手順002:HDM-330の車両への接続と起動】

下図の様に HDM-330を車両側診断コネクタに接続して下さい。HDM-330が起動します。



【手順002:メンテナンスモードの起動】に進みます

【手順003:メンテナンスモードの起動】

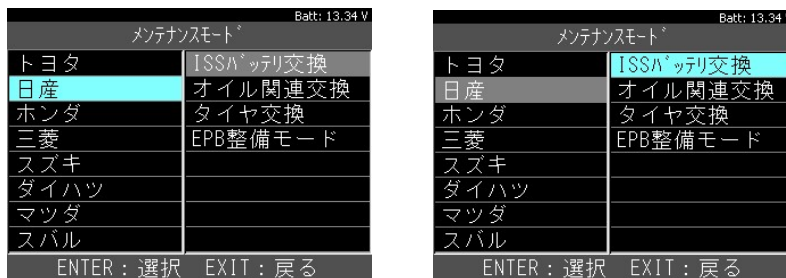
HDM-330メニューで水色のカーソルを「メンテナンスモード」のアイコンに移動させ、ENTER キーを押します。



【手順004:ISS バッテリー交換の実行】に進みます

【手順004:ISS バッテリー交換の実行】

水色のカーソルを「日産」⇒「ISS バッテリー効果」の順に移動させた後、ENTERキーを押してください。



【手順005:車種選択～年式選択での項目選択】に進みます

(次ページへ続きます)

【手順005:車種選択～年式選択での項目選択】

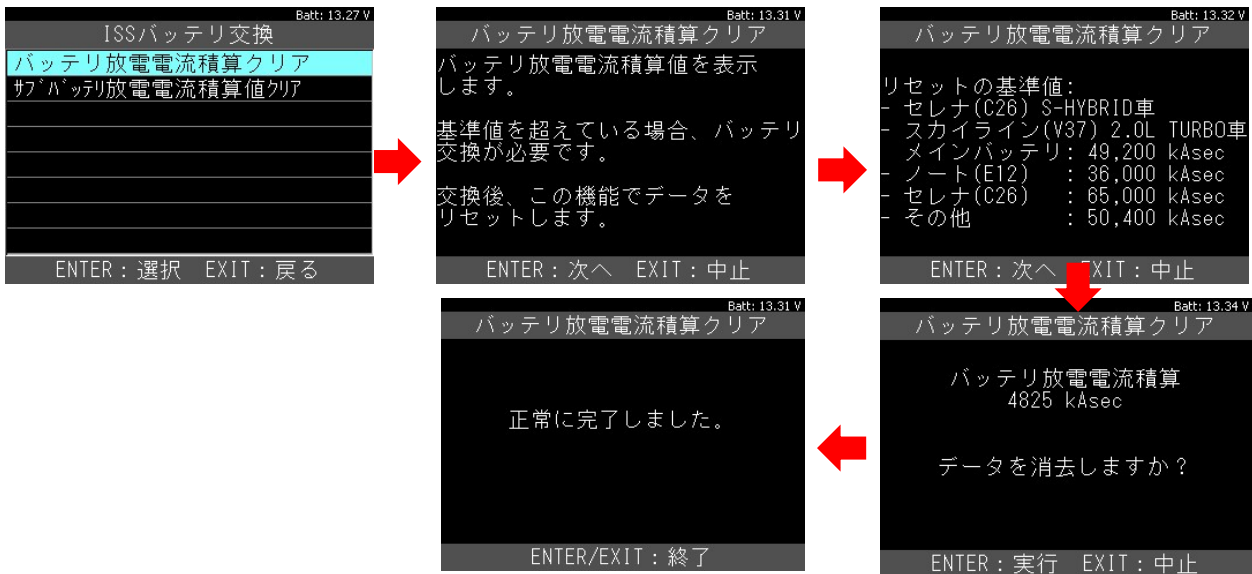
「車種選択」⇒「型式選択」⇒「年式選択」の順番で画面が表示されますので、それぞれの画面で入庫車両に該当する項目をカーソルで選択してENTERキーを押してください。



【手順006:ISS バッテリー交換～放電電流積算値クリア】に進みます

【手順006:ISS バッテリー交換～放電電流積算値クリア】

「ISS バッテリー交換」が表示されましたら、交換したバッテリーに応じて「バッテリー放電電流積算値クリア」か「サブバッテリー放電電流積算値クリア」をカーソルで選択してENTERキーを押してください。その後、ENTERキーを押して画面を遷移させて「データを消去しますか?」と表示されましたらENTERキーを押して消去を実行してください。



【手順007/車両各部の設定】に進みます

【手順007/車両各部の設定】

バッテリーのマイナス端子取り外しを行った際、車両毎で所定の箇所の初期化設定を行う必要がございます。下表と4/5～5/5ページの手順一覧を参照の上、設定を行って下さい。(完了)

車両	初期化を実施する箇所					
	パワーウィンドウ	オート ドライビング ポジション	リモコンオート スライドドア	リモコン オートバックドア	舵角センサ 中立点補正	ダイレクト アダプティブ ステアリング
マーチ (K13)	○				○	
キューブ (Z12)	○					
スカイラン (V37)	○	○				○
エクストレイル (T32)	○			○		
ジューク (F15)	○					
ノート (E12)	○					
セレナ (C26)			○			
セレナ (C27)	○		※			

※インテリジェントキー付車

バッテリー・マイナス端子取り外し時の初期化設定作業一覧(2020年11月現在)

本一覧は作業内容の紹介を目的としたものですが、作業手順等は自動車メーカーにより予告なく変更される為、実施の際は車両の発売年月日、仕様変更に応じて改訂された自動車メーカー発行の整備解説書を必ずご参照下さい。

設定箇所	初期化設定手順
パワーウィンドウ	<p>手順1:初期化設定手順</p> <ol style="list-style-type: none"> ① キースイッチを ON にします。 ② パワーウィンドウスイッチを操作してガラスを半開以上にします(既にガラスが半開以上の時、この操作は不要です)。 ③ パワーウィンドウスイッチをオートアップ作動位置まで引き上げ続け、ガラスが全閉位置で停止した後もスイッチを2秒以上引き上げ続けて下さい。 ④ オートアップ作動点検を実施し、正常に動作することを確認して下さい。 <p>手順2:挟み込み防止機能点検</p> <p>※1: 下記①～③の点検においては、絶対に身体の一部を挟み込ませる様な点検は行わないで下さい。また身体の挟み込みに、ご注意下さい。</p> <p>※2: システムの初期化を行った場合はオートアップ作動機能が働くことを確認してから点検を行って下さい。</p> <p>※3: オートアップ作動機能、挟み込み防止機能がうまく作動しない場合は初期化設定を実施して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ドアガラスを全開にして下さい。 ② 木片等を全閉位置付近に設置して下さい。 ③ オートアップでドアガラスを全開作動させて下記(ア)(イ)を確認して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 木片等を挟み込まずにガラスが反転し、約150mm下降した後、停止することを確認して下さい。 (イ) 反転下降中、パワーウィンドウスイッチを操作してもガラスが上昇しないことを確認して下さい。
舵角センサ中立点調整	<ol style="list-style-type: none"> ① キースイッチを ON にする。 ② ステアリングを左右一回ずつフル転舵して下さい。
リモコンオートスライドドア	<ol style="list-style-type: none"> ① オートスライドドア開閉スイッチ、またはオートスライドドアワンタッチ開閉スイッチを操作してオート開機能を作動させる。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 未初期化状態ではスライドドア位置に関わらず最初は開作動を行います。 ② スライドドアを全開位置で停止させた後、オートスライドドア開閉スイッチ、またはオートスライドドアワンタッチ開閉スイッチを操作してオート閉機能を作動させて下さい。 ③ 作動中の異音、または誤作動の有無を確認して下さい。 ④ オートスライドドアブザーの作動を確認して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ※スライドドアのオート開閉作動を行う場合、ドアが確実に全閉、または全開位置に達するまでスライドドアに触れたりしないで下さい。また異物、身体の挟み込みに、ご注意下さい。

(次ページに続きます)

設定箇所	作業手順
オートバックドア	<p>① 手動操作でバックドアを全閉状態にして下さい。(既にバックドアが全閉状態であれば、この作業は不要です。)</p> <p>② バックドアのオート開作動を行って下さい。</p> <p>③ 作動中の異音、または誤作動の有無を確認して下さい。</p> <p>※:バックドアのオート開作動を行う場合、ドアが確実に全開位置に達するまで、バックドアに触れないで下さい。また異物、身体の挟み込みに、ご注意下さい。</p>
オートドライビングポジション	<p>手順1:システム初期化</p> <p>下記の A、B いずれかの手順を行って下さい。</p> <p>システム初期化手順 A</p> <p>① キースイッチを ACC ポジションから OFF ポジションにしてください。</p> <p>② 運転席ドアを開く(ドアスイッチを ON)⇒閉める(ドアスイッチを OFF)⇒開く(ドアスイッチを OFF)の操作を行って下さい。</p> <p>システム初期化手順 B</p> <p>時速25km以上で走行して下さい。(周囲の状況にご注意下さい)</p> <p>手順2:ドライビングポジション登録</p> <p>① キースイッチを ON、セレクタレバーを P 位置にして下さい。</p> <p>② シート、ドアミラーを登録する位置へ調整して下さい。</p> <p>③ セットスイッチを押して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモリインジケータ0.5秒間点灯:未登録 ・メモリインジケータ5秒間点灯 :登録 <p>④ セットスイッチを押してから5秒以内にメモリスイッチ(1または2)を1秒以上押して下さい。※登録が正常に完了するとメモリインジケータが5秒間点灯します</p> <p>⑤ メモリ機能を実行し、各部位が正常に動作することを確認して下さい。</p> <p>手順3:インテリジェントキー連動機能の登録</p> <p>① キースイッチOFFでセットスイッチを押して下さい。(登録されているメモリのメモリインジケータが5秒間点灯します。)</p> <p>② 連動させたいメモリのメモリスイッチを押しながら、インテリジェントキーのアンロックボタンを押して下さい。(登録が行われた場合は、その時点から該当するメモリインジケータが5秒間点灯します)</p> <p>③ インテリジェントキー連動機能を実行し、各部位が正常作動するか確認します。</p> <p>手順4:設定変更</p> <p>① キースイッチをOFFにしてください。</p> <p>② セットスイッチを10秒以上押して下さい。この時、メモリインジケータの点滅を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモリインジケータ2回点滅: 退避/復帰機能ON ・メモリインジケータ1回点滅: 退避/復帰機能OFF
ダイレクトアダプティブステアリングシステム	<p>① ステアリングホイールを直進状態にして下さい。</p> <p>② バッテリ端子を取り付けて下さい。</p> <p>③ 車両をREADY状態、またはエンジンを始動状態にして下さい。</p> <p>④ ステアリングホイールを左右いっぱい操舵して下さい。</p> <p>⑤ ステアリングの操作状態が正常であることを確認して下さい。</p>